

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	北秋田市家庭教育支援チーム (呼称:にこっと)
②活動拠点	北秋田市民ふれあいプラザ(北秋田市教育委員会生涯学習課)
③活動範囲	北秋田市内全域
④組織体制	8人 元教員1人、元養護教諭1人、元保健師1人、元助産師1人、 元保育士1人、元行政職員2人、行政相談員1人
⑤活動開始年度	平成29年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 北秋田市教育委員会生涯学習課 生涯学習係 (TEL)0186-62-1130 (E-mail)be-syougai@city.kitaakita.akita.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

③活動内容

【具体的な活動内容】

・親子ふれあいサロンの開催(半年間に2～3回程度の開催)
親子の交流の機会の創出のため、親子が互いに交流できる場を半年に約2～3回の頻度で行っている。

例：・北欧の杜公園での親子あそびサロン

- ・間伐材を利用した千個以上ものつみ木を活用した支援プログラム
- ・市内の各種団体と連携した親子イベント



・就学前講座(保護者講座)の開催

(地域の学校の実情に応じて年に1回程度の開催)

小学校就学前の子どもがいる保護者を対象に、親の心構えや家庭教育の大切さを伝えることをねらいとした。保護者が気軽に話しやすい雰囲気をつくるため、座談会のような形式で行った。

・中学校PTA親子学習会の開催(市内の学校の必要に応じて開催)

中学生とその保護者を対象に、より複雑になりやすい思春期の子どもと親のコミュニケーションを支援するために、親子の対話をテーマとしたワークショップを市内中学校で行った。



・プレパスクール(父親参画)の開催

(地域のその都度のニーズに応じて開催)

初めて育児に臨む父親を対象に、家庭教育における「協働」の大切さを伝えるために、子育て経験談を交えたアドバイスを伝えた。

・読み聞かせ・朗読劇・人権教室の開催(年に1回程度の開催)

物語への深い没入体験、登場人物への共感を通して、思いやりの心や自分も相手も大切にすることを育むことをねらいとして行っている。

【活動にあたり工夫している点】

- ・「親と子の触れ合いの中から生まれる“発見”や“喜び”を引き出す楽しい活動づくり」をテーマに、親と子が同じ空間でともに喜びを共有できる場の提供に励んでいる。元教員・元助産師・元保健師などの専門職でチームを組んでいるため、様々な側面からアドバイスができる体制を整えている。
- ・市内小学校・公民館・保育園や市内の公園など様々なフィールドで活動している。自然の中や、遊びなどリラックスした環境をつくり、相談しやすい雰囲気づくりを心がけている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の相談支援や、地域や学校のニーズに応えた講演会、子育てアドバイス、出張教室等も行っている。妊産期から思春期まで途切れない支援体制としている。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・親子ふれあいサロンなどの開催をとおして、親子のコミュニケーションの場を創出することができた。 ・これまでの企画の参加者から前向きな感想が多く寄せられ、地域の学校や機関からの連携のお誘いの声をいただくことも増え、地域の連帯感が高まった。 ・就学前講座に参加した保護者からは「子どもの長所に改めて気が付き、これからも見つけていこうと思った」「安心して学校生活を送れる期待が大きくなった」などの前向きな感想をいただいた。
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:学校・家庭・地域連携総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:) <input checked="" type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()